

地域福祉に関するアンケート調査（福祉関係者対象）

～ご協力をお願い～

福祉関係者の皆様へ

日頃より福祉の推進について、ご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
さて、本市では「第4次八尾市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を令和3年（2021年）3月（社会福祉協議会の地域福祉活動計画は9月）に策定しましたが、これまでの計画の推進状況、コロナ禍を経た社会情勢や市民ニーズ等の変化を踏まえ、総合的に評価を行い、見直しを行う予定をしております。

計画の見直しにあたりまして、日頃より福祉活動に取り組んでおられる方のお考えやご意見をお寄せいただくため、アンケート調査をお願いすることといたしました。

この調査では、小学校区を単位に集計・分析するため、各地区福祉委員会や民生委員・児童委員等からおおむね530人をお願いしております。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、統計的に処理し、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和6年（2024年）7月

八 尾 市

【回答の記入方法についてのお願い】

1. 回答は、令和6年（2024年）7月1日現在でご記入ください。
2. 令和6年（2024年）7月31日（水曜日）までにいずれかの方法でご回答ください。

①Webページから入力

右の二次元バーコード、または下記URLからWebページにアクセスいただきご回答ください（回答にはIDの入力が必要です）。

回答URL <https://>

あなたのIDは です。

②調査票に記入

- 回答を直接記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、無記名でご投函ください。
3. お問い合わせは、下記までお願いします。

①調査票の書き方（オンラインの回答方法）、回答の提出方法について

株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所（調査委託先）

フリーダイヤル：0120-●●●-●●●（開設時間：平日9時～12時/13時～17時）

②調査の実施について

八尾市 健康福祉部 地域共生推進課

電 話 072-924-3835（土・日・祝日を除く。8時45分～17時15分）

FAX 072-922-3786 メール hukusi@city.yao.osaka.jp

あなた自身のことについて

問1 あなたの性別に○をつけてください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 男性・女性と答えることに抵抗を感じる |
|-------|-------|-----------------------|

問2 あなたの年齢（令和6年7月1日現在）をご記入ください。

満

歳

問3 あなたの現在の職業をおうかがいします。(1つに○)

- | | |
|---|--|
| 1. 自営業（商工業、サービス業、建設業、農業などの業種）およびその家族従事者
2. 教員・公務員
3. 民間の企業・団体に勤務
4. 自由業（開業医、弁護士、著述業など） | 5. パート・アルバイト
6. 学生
7. 家事専業
8. 無職（学生・家事専業を除く）
9. その他（具体的に |
|---|--|

取組んでいる福祉活動について

問4 あなたと福祉とのかかわりは、次のどれにあてはまりますか。また、そのかかわりは何年くらいになりますか。（あてはまるものすべてに○をし、活動年数を記入）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 福祉の仕事 | →【活動年数：_____年】 |
| 2. 民生委員・児童委員の活動 | →【活動年数：_____年】 |
| 3. 地区福祉委員会活動 | →【活動年数：_____年】 |
| 4. ボランティア・NPO 活動 | →【活動年数：_____年】 |
| 5. 自治会・町内会の活動 | →【活動年数：_____年】 |
| 6. 校区まちづくり協議会の活動 | →【活動年数：_____年】 |
| 7. その他（具体的に | ） →【活動年数：_____年】 |

問5から問14は「民生委員・児童委員の活動」「地区福祉委員会の活動」等について、おうかがいします。

当該活動から離れられた方は、活動されていたときのこととして、お答えください。

問5 活動のきっかけはどのような理由からですか。（2つまで○）

1. 地域をより住みやすいものにしたいから	5. 自分の生きがいや健康管理に役立つから
2. 社会や人のためになる活動がしたいから	6. 持ち回りの当番制となっていたから
3. 知識や技術を身につけたいから	7. 友人や知人に誘われたから
4. 新たに友人や知人を得たいから	8. その他（具体的に ）

問6 あなたは、現在されている（されていた）活動について、どのように感じていますか（感じていましたか）。（それぞれ1つに○）

①活動の楽しさ	1. 楽しく活動している 2. どちらかというと楽しく活動している 3. どちらかというと楽しく活動できていない 4. 活動は楽しくない
②やりがい・使命感	1. 強く感じる 2. 感じる 3. あまり感じない 4. 感じない
③負担感	1. 強く感じる 2. 感じる 3. あまり感じない 4. 感じない
④今後の活動意向	1. 続けたい 2. やめたい 3. わからない

問7 活動されている（されていた）エリア（小学校区）はどこになりますか。

（あてはまるものすべてに○） ※高安は小中学校校区

1. 八尾	8. 安中	15. 志紀	22. 高美南
2. 山本	9. 竹湊	16. 高美	23. 西山本
3. 用和	10. 南高安	17. 長池	24. 高安西
4. 久宝寺	11. 高安	18. 東山本	25. 曙川東
5. 龍華	12. 曙川	19. 美園	26. 亀井
6. 大正	13. 北山本	20. 永畑	27. 上之島
7. 桂	14. 南山本	21. 刑部	28. 大正北

小学校区がわからない方は、住所をご記入ください。 八尾市（ ）丁目

問8 あなたが福祉の活動を行うにあたって、必要な情報は十分入手できていますか（できていましたか）。（1つに○）

1. 十分入手できている	3. ほとんど入手できていない
2. ある程度入手できている	4. まったく入手できていない

問9 取組まれている（いた）活動にあたって、悩みや苦勞、不安はどのようなものですか。
ご自身の気持ちに近いものについて、お答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う
2. 問題が深刻になる前に、早期発見につながる情報を把握できない
3. 社会福祉に関する知識の習得、情報の整理が追いつかない
4. 援助を必要とする人へどこまで援助をすればよいのか、また支援の方法がわからない
5. 援助が困難な場合の相談先が判断しにくい
6. 若い人が興味を持ちやすい活動ができていない
7. 新たな会員の確保ができない
8. やらされ感が強く、自発的な活動につながっていない
9. 活動がマンネリ化してきている
10. 行政の協力が得にくい
11. 社会福祉協議会の協力が得にくい
12. 専門機関との連携が取りにくい
13. 困っていることを相談できる仲間や先輩がいない
14. 配布物や調査など、行政や社会福祉協議会からの協力依頼事項が多すぎる
15. 会議や研修などにとられる時間が多すぎる
16. 自治会や町内会の行事などの参加の負担が大きい
17. 相談件数が多すぎる
18. 受け持ちの世帯数が多すぎる
19. 要援護者やその家族等から活動への理解が得られない
20. 自身の家族から、活動への理解が得られない
21. コロナ禍を経て、活動への意識・意欲が変化した（具体的に
22. その他（具体的に
23. 特にない

問10 活動にあたって、困ったときの相談相手は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|------------------------|
| 1. 主任児童委員 | 12. 福祉生活相談支援員 |
| 2. （ほかの）民生委員・児童委員 | 13. 生活支援相談センター |
| 3. 地区福祉委員会 | （生活困窮相談窓口） |
| 4. 町内会・自治会の人 | 14. こども総合支援センターほっぴ |
| 5. 家族・親族 | 15. 八尾市ひきこもり等若者相談窓口 |
| 6. 友人・知人 | 16. 障がい者相談支援事業所 |
| 7. 市役所（出張所・コミュニティセンター・人権コミュニティセンターを含む） | 17. 八尾市消費生活センター |
| 8. 社会福祉協議会 | 18. その他福祉関係の事業所 |
| 9. 高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター） | 19. 医療機関 |
| 10. 保健センター | 20. 警察・消防署 |
| 11. 保健所 | 21. 教育・保育機関（学校、こども園など） |
| | 22. その他（具体的に |
| | 23. 相談相手がいない |

問 11 活動の中で、連携している人や機関、団体等をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 主任児童委員	13. こども総合支援センターほっぷ
2. (ほかの) 民生委員・児童委員	14. 八尾市ひきこもり等若者相談窓口
3. 地区福祉委員会	15. 障がい者相談支援事業所
4. 町内会・自治会	16. 八尾市消費生活センター
5. 校区まちづくり協議会	17. その他福祉関係の事業所
6. 市役所(出張所・コミュニティセンター・ 人権コミュニティセンターを含む)	18. 医療機関
7. 社会福祉協議会	19. 警察・消防署
8. 高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)	20. 教育・保育機関(学校、こども園など)
9. 保健センター	21. 自主防災組織
10. 保健所	22. 地域の商店・企業
11. 福祉生活相談支援員	23. 当事者団体
12. 生活支援相談センター(生活困窮相談窓口)	24. その他(具体的に)
	25. 特にいない

問 12 あなたが担当する地域で、定期的に見守りや何らかの支援を行っている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体障がいのある方	8. ひとり親家庭の家族
2. 知的障がいのある方	9. 子育て中の方
3. 精神障がいのある方	10. 高齢者や障がいのある人を介護されている方
4. 医療的ケアの必要な方	11. 不登校、ひきこもりの方
5. ひとり暮らし高齢者	12. 低所得者
6. 高齢者のみ世帯 (ひとり暮らし高齢者を除く)	13. 外国人
7. 認知症の方	14. その他(具体的に)

問 13 あなたは、障がいのある人またはそのご家族等から相談を受けることはありますか。
ある場合は、受ける主な相談内容について該当する番号を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 相談を受けたことはない	7. 子どもの教育・学校生活に関する相談
2. 介護・介助等に関する相談	8. 医療に関する相談
3. 生活費に関する相談	9. 障がい福祉サービスに関する相談
4. 仕事に関する相談	10. 成年後見に関する相談
5. 子育てに関する相談	11. 障がい者差別や合理的配慮に関する相談
6. 虐待に関する相談	12. その他(具体的に)

問 14 あなたは、八尾市は障がいのある人にとって地域活動に参加しやすいまちだと思いますか。(1つに○)

1. そう思う	2. そう思わない
---------	-----------

令和6年に障害者差別解消法が改正施行され、民間事業者による合理的配慮の提供が法的義務化されました。

問 15 障がいや障がいのある人に対する市民の理解や配慮は、どの程度深まってきていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. かなり深まってきている | 4. まったく深まっていない |
| 2. まあまあ深まってきている | 5. わからない |
| 3. あまり深まっていない | |

問 16 あなたは、障がいや障がいのある人への市民の理解や配慮を深めるためには、どんなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 障がいや障がいのある人への理解、合理的配慮等に関する啓発の充実 | |
| 2. 筆談・手話・点字等のコミュニケーション手段の普及 | |
| 3. スマートフォン等を活用した情報入手手段等の充実 | |
| 4. 障がいのある人への理解の促進を目的とした市民団体の活動 | |
| 5. 障がいのある人へのボランティア活動の充実 | |
| 6. 地域交流を通じた障がいのある人への理解の促進 | |
| 7. 学校における福祉・ボランティア教育の充実 | |
| 8. 地域に開かれた福祉施設での交流の場の充実 | |
| 9. その他（具体的に | ） |
| 10. わからない | |

制度や分野による縦割りや、支え手・受け手という関係を超えて支え合う社会をめざす「地域共生社会」の実現が必要となっています。

問 17 「地域共生社会」では、多様な生活課題に制度等の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められますが、八尾市でそうした包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 相談した窓口から、適切な相談機関につなげられる仕組み（連携体制）を充実（強化）する | |
| 2. より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所などの相談を充実する | |
| 3. 相談に行けない人（行かない人）を発見し、窓口につなぐ取組みを充実する | |
| 4. 相談を支援に結びつけるよう、関係者のネットワークを充実する | |
| 5. 課題を解決するため、サービスや社会資源を開発する取組みを充実する | |
| 6. 相談しやすいように、相談を受ける方法を充実させる | |
| 7. 相談窓口の情報を市民に分かりやすく周知する | |
| 8. その他（具体的に | ） |

問 18 あなたが活動している（していた）地域では、次の①～⑨のような取組みが、関係機関や団体などが協力・連携して、どの程度できていると思いますか。（それぞれ1つに○）

	でき かなり ている	多少は でき ている	あまり でき ていない	ほとんど でき ていない	わからない
①情報の提供と活用の支援 支援を必要とする人がニーズに気づき、必要な相談や支援を選択して利用できるようにする。	1	2	3	4	5
②ニーズの把握とつなぎ 潜在化しているニーズを発見し、適切な支援につなぐ。	1	2	3	4	5
③支援のコーディネート 支援が必要な人と多様なサービスや活動を調整し、つなぐ。	1	2	3	4	5
④サービスや活動の提供 自立支援を重視した質の高いサービスや活動が提供できる体制を確保する	1	2	3	4	5
⑤サービスや活動の開発 既存の資源では対応できないニーズに対して、新たなサービスや活動を協力して開発する。	1	2	3	4	5
⑥福祉コミュニティづくり 支援を必要とする人がつながりを持ち、安心して暮らせるコミュニティをつくる。	1	2	3	4	5
⑦経験の集約と実践への反映 相談や支援の実践を通じた課題や経験を集約し、取組みに反映する。	1	2	3	4	5
⑧連携して進める仕組み これらの取組みを関係機関や団体等が連携して総合的に推進する。	1	2	3	4	5
⑨専門職や社会福祉協議会等からのサポートを受けること 活動へのアドバイスなど行う専門職や支援機関からサポートが受けられる。	1	2	3	4	5

地域や福祉に関する意識について

問 19 あなたは、日頃、一人ひとりの人権を尊重することについて、意識して活動していますか。
(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. いつも意識している | 3. あまり意識する機会がない |
| 2. ときどきは意識する | 4. 意識したことがない |

問 20 あなたは、権利擁護に関する以下の制度について知っていますか。(1つずつ○)

※**権利擁護**とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が十分でない方の権利の代弁・弁護を行い、その人が安心して生活できるように支援することをいいます。

①成年後見制度	1. 内容まで知っている 2. 名前は知っているが、内容は知らない	3. 知らない
②日常生活自立支援事業	1. 内容まで知っている 2. 名前は知っているが、内容は知らない	3. 知らない
③市民後見人	1. 内容まで知っている 2. 名前は知っているが、内容は知らない	3. 知らない
④任意後見制度	1. 内容まで知っている 2. 名前は知っているが、内容は知らない	3. 知らない

成年後見制度は、認知機能が不十分なために財産管理ができない方や福祉サービスの利用契約が結べない方の自己決定をサポートするための制度です。

日常生活自立支援事業は、日常的な金銭管理・福祉サービスの利用料の支払いや福祉サービスについての利用援助を行います。

市民後見人とは、家庭裁判所から選任された市民の方で、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方の生活を、地域福祉活動として身近な立場で支援します。

任意後見制度とは、将来、判断能力が不十分になったときに備え、後見人になってもらいたい人と契約を結んでおく制度で、任意後見人は、本人の判断能力が不十分になってから後の財産管理や介護や住まいの確保など、さまざまな契約を行います。

問 21 「成年後見制度」について知りたいときは、以下の相談窓口で相談を行っていますが、この中で知っているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 法テラス（日本司法支援センター）
2. 市役所・高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）・
障がい福祉課基幹相談支援センター
3. 社会福祉協議会（権利擁護センターほっとネット）
4. 弁護士会
5. 司法書士会
6. 社会福祉士会
7. どれも知らない

生活支援相談センターでは、生活困窮者への支援として、自立支援に向けた相談、住居の確保支援、就労支援、生活支援、学習支援等に取り組んでいます。

問 22 あなたは生活困窮に関する相談窓口（生活支援相談センター）を知っていますか。（1 つに○）

1. 窓口があることも、支援の内容も知っている
2. 窓口があることは知っているが、支援の内容はよく知らない
3. 知らない

問 23 あなたは生活困窮への支援として、具体的にどのような支援が必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 経済的困窮についての相談支援 | 5. 家計の立て直しのための支援 |
| 2. 就労のための支援 | 6. 医療費等急を要する際の一時的な貸付 |
| 3. 住宅の確保のための支援 | 7. 食料や食事の提供 |
| 4. 子どもの学習のための支援 | 8. 上記に該当しない生活相談支援 |
| | （具体的に |
| | ） |

問24 あなたが担当する地域では、どのような課題・問題があると感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 認知症（疑いを含む）の方の対応 | |
| 2. 高齢者・障がい者虐待（疑いも含む）の対応 | |
| 3. 子どもの虐待（疑いも含む）の対応 | |
| 4. DV被害への対応 | |
| 5. 不登校の子どもへの対応 | |
| 6. 家族の介護や看護をしている子ども（ヤングケアラー）への対応 | |
| 7. ひきこもり（※1）や8050問題（※2）を抱える方への対応 | |
| 8. 住まいの確保に課題のある方への対応 | |
| 9. ゴミ屋敷の対応 | |
| 10. 高齢者・障がい者の消費者被害（詐欺等）への対応 | |
| 11. 災害時の要援護者等の支援 | |
| 12. その他（具体的に | ） |

用語解説

※1 ひきこもり

厚生労働省により「さまざまな要因の結果として、社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交流など）を回避し、原則的には6か月以上にわたっておおむね家庭にとどまり続けている状態」と定義されています。

※2 8050問題

いわゆる「8050（はちまる・ごうまる）問題」といい、80代の親と50代の無職の子どもが同一世帯で生活していることで、顕在化している生活課題をいいます。

問25 犯罪や非行をした人の立ち直りのために必要だと思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 経済的困窮についての相談支援 | 5. 地域住民の理解 |
| 2. 就労のための支援 | 6. その他（具体的に |
| 3. 住宅の確保のための支援 | 7. 支援は必要ない |
| 4. 就学のための支援 | 8. わからない |

地域や福祉に関する行動について

問 26 あなたは、福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどに参加したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加したことがない |
| 2. ときどき参加している | 4. まったく参加したことがない |

問 27 あなたは、地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会に参加したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加したことがない |
| 2. ときどき参加している | 4. まったく参加したことがない |

問 28 あなたは、ご自分の所属以外の福祉活動団体やグループとの交流、福祉施設の見学などに参加したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加したことがない |
| 2. ときどき参加している | 4. まったく参加したことがない |

問 29 あなたは、福祉に関する研修会やボランティア講座などを生かす機会（講師として小学校などの福祉教育に参加するなど）がありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 多くある | 3. あまりない |
| 2. ときどきある | 4. まったくない |

問 30 あなたは、小地域ネットワーク活動に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加したことがない |
| 2. ときどき参加している | 4. まったく参加したことがない |

小地域ネットワーク活動とは、住み慣れた地域でだれもが安心して暮らしていけるよう、地域住民が実施している要援護者への見守りや声かけ、給食会・食事会、いきいきサロン、ふれあい喫茶、子育てサロン、世代間交流などの活動のことをいいます。

問 31 あなたは、小地域ネットワーク活動以外のNPOやボランティア等の福祉活動に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加したことがない |
| 2. ときどき参加している | 4. まったく参加したことがない |

地域力について

問 32 あなたの地域の活動や行事について、他の地域に比べて活発に活動していると感じていますか。（1つに○）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 大変活発に活動している | 3. どちらかというと活発ではない |
| 2. どちらかというと活発に活動している | 4. まったく活発ではない |

問 33 コロナ禍を経験し、あなたの地域の活動や行事は、以前と比べてどのように変化したと感じますか。（1つに○）

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. どちらかというより活発になった | 3. 特に変化はない |
| 2. どちらかというより活発でなくなった | |

問 33-1 コロナ禍前と比べて、地域の活動や行事を行う上で変わったこと（やりやすくなったこと・やりにくくなったこと、やり方を変更したことなど）があれば、記載してください（自由記載）

（例）・LINEの連絡網ができて、情報共有がしやすくなった。

・地域住民に行事の案内をしても、以前よりも参加者が集まらない。

問 34 あなたの地域の住民活動などにおいて、住民相互のまとまり具合をどのように感じていますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 大変まとまりがある | 3. どちらかというまとまりはない |
| 2. どちらかというまとまりがある | 4. まったくまとまりがない |

問 35 あなたが活動されている地域での防災訓練や自主防災組織の活動など、災害対策の取組みについて、どのように感じていますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 活発に取り組んでいる | 3. どちらかというと活発ではない |
| 2. どちらかというと活発に取り組んでいる | 4. まったく活発ではない |

問 36 あなたが活動されている地域では、高齢や障がいなどで支援が必要な人が、災害時に避難できる体制づくりや配慮がなされていると思いますか。（1つに○）

- | |
|------------------------------|
| 1. すでに体制や取り決めができています |
| 2. 体制づくりを進めている |
| 3. 話し合ったことはあるが具体的なことは決まっていない |
| 4. これまで検討（考えた）したことはない |

問 37 災害時に備えて、地域で取組むことについて、どのようなことが重要だと思いますか。
(3つまで○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 地域で顔の見える関係づくりに取組む |
| 2. 地域で災害時に手助けを必要とする人・世帯を把握しておく |
| 3. 定期的に防災訓練を開催する |
| 4. 防災に関する講座や講習会を開催する |
| 5. 地域で避難方法や避難場所等を決めておく |
| 6. 校区まちづくり協議会・自主防災組織等の活動を活発にする |
| 7. 地域で食料や生活必需品等を準備しておく |
| 8. 地域の団体間で避難に手助けが必要な方の情報共有を行う |
| 9. 日頃から地域の行事や活動（地区福祉委員会活動を含む）を活発にする |
| 10. その他（具体的に |
| 11. 特にない・わからない |

行政や社会福祉協議会、福祉事業者などの地域福祉を支えるしくみについて

問 38 あなたは、地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）について、どのように感じていますか。（1つに○）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. よい関係ができている | 3. よい関係ができているかどうかわからない |
| 2. どちらかというときよい関係ができている | 4. よい関係ができていない |

問 38-1 コロナ禍を経験し、地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）について、以前と比べてどのように変化したと感じますか。（1つに○）

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. どちらかというときよりよい関係になった | 3. 特に変化はない |
| 2. どちらかというときあまりよい関係でなくなった | |

問 39 あなたは、社会福祉協議会の活動により、地域の福祉課題に対する住民同士の協力関係やまとまりが強まったと感じていますか。（1つに○）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 大変強まっている | 3. 強まっているかどうかわからない |
| 2. どちらかというとき強まっている | 4. ほとんど強まっていない |

問 40 あなたは、社会福祉法人や企業等の社会貢献や地域貢献についてどのように感じていますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 貢献しているところが多い | 3. 貢献しているかどうかわからない |
| 2. 貢献しているところもある | 4. ほとんど貢献していない |

社会貢献や地域貢献とは、業務として提供しているサービスを除き、例えば地域行事への協力、施設開放、人材派遣、学習会の開催など、制度に定まっていない自主事業や活動のことをいいます。

今後必要な支援について

問 41 日常生活におけるちょっとした支援について、今後需要が高まると思う支援・サービスは何だと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 話し相手 | 9. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 2. 相談ごとの相手 | 10. ゴミ出し |
| 3. ちょっとした買い物 | 11. 庭の草刈 |
| 4. 外出の付き添い | 12. 緊急時の看病・救急車を呼ぶなどの手助け |
| 5. 子どもの預かり・外遊びの見守り | 13. 認知症高齢者や障がい者の金銭管理・詐欺被害防止など本人の権利を守る取組み |
| 6. 日常での安否確認（見守りや声かけ） | 14. 安心して過ごせる場（居場所）づくり |
| 7. 災害時の安否確認・手助け | 15. その他（具体的に |
| 8. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | ） |
| | 16. 特にない・わからない |

問 42 次の支援・サービスのうち、有償でも充実・確保したほうがよいと思う支援・サービスは何だと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 話し相手 | 9. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 2. 相談ごとの相手 | 10. ゴミ出し |
| 3. ちょっとした買い物 | 11. 庭の草刈 |
| 4. 外出の付き添い | 12. 緊急時の看病・救急車を呼ぶなどの手助け |
| 5. 子どもの預かり・外遊びの見守り | 13. 認知症高齢者や障がい者の金銭管理・詐欺被害防止など本人の権利を守る取組み |
| 6. 日常での安否確認（見守りや声かけ） | 14. 安心して過ごせる場（居場所）づくり |
| 7. 災害時の安否確認・手助け | 15. その他（具体的に |
| 8. 炊事・洗濯・掃除などの家事 | ） |
| | 16. 特にない・わからない |

問 43 あなたは、地域福祉を充実するために、どのようなことに特に優先的に取り組むべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 福祉に関する情報の提供	19. 地域での場（居場所）づくり
2. 身近な相談窓口の充実	20. 子ども・若者が安心して過ごすことができる場（居場所）づくり
3. 困ったときに何でも相談できる窓口機能	21. 支援が必要な人を発見する取り組み
4. 高齢者・障がい者などの日常生活への支援	22. 住宅の確保や住環境の整備
5. 子育ての支援	23. バリアフリーのまちづくり
6. 孤立した人やひきこもりの人への支援	24. 公共交通の整備や移動の支援
7. 経済的に困窮している人への支援	25. 防災や災害時に支援が必要な人への対応
8. 就労のための支援	26. 犯罪や事故のない安全なまちづくり
9. 社会参加を促す支援	27. 犯罪予防活動や犯罪をした人の社会復帰に向けた支援
10. 年金などの社会保障制度の充実	28. 虐待や差別の防止
11. 健康づくり	29. 福祉に関わる団体や機関のネットワークづくり
12. 医療・福祉の連携	30. 筆談・手話・点字等のコミュニケーション手段の普及
13. こころの健康に関する支援	31. スマートフォン等を活用した情報入手への支援
14. 認知症の人などの権利擁護	32. 社会福祉法人、企業などの社会貢献活動
15. 福祉の心を育てる取り組み	33. その他（具体的に
16. ボランティアやNPO活動への支援	34. 特にない・わからない
17. 地域住民のつながりづくり	
18. 地域での支えあいの活動	

■その他、地域福祉の推進に関して、あなたのお考えを自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。